

令和5年度 「大砂土中学校 教育活動アンケート」 集計結果

○生徒・保護者の項目 良好な割合 黄色 90%以上 改善が必要な割合 水色 40%以上

○：共通項目の文言：原文を簡潔にしたもの

そう思う
  おおよそそう思う
  あまりそう思わない
  そう思わない
  よくわからない

重点	アンケート 共通項目	生徒		保護者			
		良好	改善	良好	改善		
全	澁刺と楽しい学 校生活 【校訓】		93%	5%		93%	7%
	元気なあいさつ 【三つの実行】		91%	8%		76%	22%
	整理・整頓・清掃 【三つの実行】		87%	11%		55%	45%
	時間を守る 【三つの実行】		93%	6%		87%	13%
1	積極的な授業参 加		91%	9%		82%	15%
	わかる授業		80%	19%		69%	27%
	体力向上への取 組		80%	19%		72%	27%
	ICT の活用		96%	4%		73%	12%

2	道徳の授業の充実		88%	10%	79%	8%
	いじめのない明るい学校		96%	3%	92%	4%
	教育相談・カウンセリングの充実		94%	4%	81%	12%
	決まりやマナーを守る		97%	2%	94%	4%
	進路・キャリア教育の充実 (深く考える機会)		82%	14%	68%	18%
	進路・キャリア教育の充実 (自身の進路について深く考える)		78%	18%	53%	43%
3	安全で安心な学校生活		97%	2%	92%	5%
	「自分の命は自分で守る」意識		94%	4%	84%	7%
	安全・安心への配慮		95%	4%	97%	6%

	充実した部活動		
		88%	6%
4	地域の活動に関心		
	チャレンジスクールへの参加		
		58%	8%

## 5 考察

### 【校訓・三つの実行】

- ・校訓でもある「澁刺と楽しい学校生活」に関する質問項目への肯定的な回答の割合は生徒・保護者ともに90%以上となっている。
- ・生徒の三つの実行（元気なあいさつ、整理・整頓・清掃、時間を守る）に関する質問項目への肯定的な回答の割合は全ての項目で90%前後となっている。
- ・保護者の整理・整頓・清掃に関する質問項目への改善を要すると回答した割合は40%以上となっている。

### 【重点1：真の学力の向上をめざし、主体的・対話的で深い学びを可能にする学習指導の充実】

- ・生徒の積極的な授業参加、ICTの活用に関する質問項目への肯定的な回答の割合はともに90%以上となっている。

### 【重点2：心身ともに元気で豊かな生徒を育成する生徒支援の充実】

- ・いじめのない明るい学校、きまりやマナーを守るに関する質問項目への肯定的な回答の割合は生徒・保護者ともに90%以上となっている。
- ・生徒の教育相談・カウンセリングの充実に関する質問項目への肯定的な回答の割合は90%以上となっている。
- ・保護者の進路・キャリアに関する質問項目への改善を要すると回答した割合は40%以上となっている。

### 【重点3：「地域とともにある学校づくり」をめざしたコミュニティ・スクールの推進】

- ・安全で安心な学校生活、安全・安心への配慮に関する質問項目への肯定的な回答の割合は生徒・保護者ともに90%以上となっている。
- ・生徒の「自分の命は自分で守る」意識に関する質問項目への肯定的な回答の割合は90%以上となっている。

### 【重点4：教職員一人ひとりのよさや個性を活かした学校づくりの推進】

- ・地域の活動への関心に関する質問項目への改善を要すると回答した割合は生徒・保護者ともに40%以上となっている。

## 【まとめ】

### 《成果》

- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け、これまで通りの学校行事や日々の学校生活を取り戻しつつあることが、生徒の「澆刺」とした学校生活につながっている。
- ・令和2年度から令和4年度にかけて、「主体的で対話的な深い学び」の研究を行い、ICTを基盤とした自律的、協働的、創造的な学びを実践したことで、生徒自身が主体的に学んでいるという実感につながっている。
- ・生徒指導部会によるいじめ予防授業に係る研修や、教育相談部会によるカウンセリング研修による教員の資質・能力の向上といった成果が生徒に還元されている。有事の際にも各部会で綿密に情報共有を図り、チームで対応していること、また、日頃の生徒との関わりの中から、温かな人間関係を醸成するよう努めていることなどが肯定的な回答につながっている。
- ・小中合同下校・引き渡し訓練や年に2回実施している避難訓練によって「自分の命は自分で守る」という防災意識につながっている。

### 《課題》

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大によって、地域の活動が制限されていたことが地域への関心の低下につながっている。徐々に地域の活動も元に戻りつつある中、地域の活動を生徒に発信することや地域とつながる場を設定していくことが必要である。